



— 剛志学府連携協議会から — 今年度最後の「剛志学府」境西中学校区連携協議会が開催されました



令和5年度第4回境西中学校区学校運営協議会を令和6年1月31日(水)に、境西中学校会議室において開催しました。今回は今年度最後の協議会でした。小・中学校それぞれの校長先生から、また、剛志学府の取組として剛志公民館館長様から、本年度の成果と課題、次年度の方向性についての説明をいただいた後、委員の皆様からの質問や感想を交えながら、協議を行いました。また、1月16日(火)に開催された伊勢崎市学校運営協議会について、梅堀校長から各地区の取組について、ご報告をいただきました。

1、報告

(1)伊勢崎市学校運営協議会連絡会議

(梅堀校長)

1/16に、宮郷公民館にて、各地区学校運営協議会が集まる連絡会議がありました。地域のつながりを従来のものでなく、新しいものに変えて取り組んでいる地区がありました。対コロナ禍で得たものとして、人と対面で関わり、絆を深めていくネットワークづくりというものが重要であると思いました。地区によっては、外国籍児童の問題があります。学校運営協議会委員の方が間に入って支援いただいているそうです。学校だけでは解決できない問題を、委員の方と協議していくことは、今後も大切なことかと思っています。石原会長様には、「運営協議会は学校の応援団としてやっています。」とおっしゃっていただき、心強いものでした。学校運営協議会は、学校の応援団として、地域と連携して大きな教育効果が得られると改めて感じた会議でした。

(2)本年度の小学校の成果と課題について

(三木校長)

剛志小 目指す学校像

『「楽しい」「おもしろい」「うれしい」気持ちがあふれる学校』

☆「なりたい自分を目指そう」 ” 自分の中の成長を少しでもいいから実感しよう”
” 自分や友達の良いところをたくさん見つけよう”

☆学校は、子供たちを肯定的・共感的に受け止め、身体的・心理的な安全を確保することを第一と考えています。そして、教職員が学校行事や、日々の子供たちの生活の中でこの事を念頭に置いて、子どもの成長のため、寄り添いながら支援を行っています。

～第2回の学校評価より～	
成果	☆「学校が楽しいと感じる」児童97.9%(前回より0.6%増) ☆「楽しく学校に通っていると感じる」保護者98.2%(前回より0.1%減) これからも100%を目指すよう取り組んでいきます。 ☆個々に見ると課題もありますが、全校として落ち着いた生活が過ごせています。 ☆それぞれの良さを認め、お互いの成長を促し合える人間関係が築けています。
課題	☆目標とする家庭学習時間 (中学年60分・高学年90分) 目標値に、児童・保護者とも達していません。目標をしっかり持たせ、落ち着いた家庭生活・学校生活がおくれるよう環境を整えていきます。 「家庭学習ガイドブック」をもとに、学習意欲が高まるように指導を継続します。

子供たちは自律を目指し、なりたい自分になるために、他者との比較でなく、自分自身の成長に目を向け、少し成長した自分を実感しながら、学校生活をおくってくれました。また、それぞれの良さを認めてお互いの成長を促し合えるような人間関係を作ってくれています。剛志小の学校生活をみんなで楽しもうという気持ちを、とても誇らしく感じています。

現在、卒業生50名のうち、西中への進学は45名、他校5名となっております。6年生には以前から、小学校卒業後の自分の進路は自分で選択するという意識を持たせたいと考え、指導してきました。「進学先で、自分はこういうことをしたいんだ。」という思いを持って、小学校を卒業してくれると思っています。



境西中学校 学校目標

『笑顔あふれ活力ある生徒の育成』

成果	<p>【学校行事から】 ☆コロナ禍が明け、学びの場が確保されたことで、縮小されていた学校行事等がコロナ禍前の姿に戻りました。生徒達はたくさんの体験をし、学ぶことができました。その中でも地域の方の協力をいただき実施できた職業体験はとても貴重な体験でした。2年生は1年生に報告会を開き、来年度へつなぎました。 ☆近さを利点と考えて、小学校との相互交流が活発に行われました。先輩としての意識を持つ、良い経験となりました。</p> <p>【学習面から】 ☆ICT機器を効果的に活用した授業を行い、生徒達の興味・関心を高めるだけでなく、見通しを持って、課題に取り組み、振り返りながら学習することで、主体性が育ちました。 「キュービナ(AIドリル)」は生徒達が率先して隙間時間などに取り組んでいます。また、個に応じた学習ができ、効果が高いので、来年度も継続します。</p> <p>【生徒指導から】 ☆いじめは現在指導している案件はありません。今後も生徒達の行動をいち早く察知するため、生活アンケートや、毎日生徒とやりとりしている西中ノートを活用し、生徒の悩みや相談を受け止め、早期対応を心がけます。 ☆別室登校や、適応教室などに通う生徒が数名いますが、保護者や生徒に応じた、きめ細やかな対応を担当が行っています。今後、各家庭と相談の上、リモート学習などを進めたり、個に寄り添いながら、少しずつ登校を促すようにしています。</p> <p>【校則の見直しから】 ☆本年度は見直しの1年目でした。靴下、靴の色、髪型などが変わりました。今、保護者と生徒向けに校則についてのアンケートをとっており、今後再構築する予定です。</p>	課題	<p>【交通事故について】 ☆交通事故の件数が昨年度より増加しています。一般的な交通安全指導はもちろんですが、啓発運動を放送したり、登下校時の危険箇所の見守りをしています。 ☆生徒達は、「自分は交通事故に遭わない」という当事者意識や、危険意識が低く、現状に満足しているのか、「気をつけなくてはいけない」という意識が少ないように思われます。 ☆スマートフォンを使いながらの、ながら運転による事故ではなく、登下校中に停止線をはみ出して、車と接触する事故が多いです。 ☆ヘルメットの着用率は高いので、事故が起きても、重大な怪我につながりませんでした。</p>
	次年度の方向性	<p>【学校経営構想について】 ☆経営目標を『生徒の自己有用感を高め、自律・共生を育てます』としました。”自律”は昨年度も掲げましたが、来年度は”共生”も入れます。これは地域とつながったり、友達を思いやったり、色々な事と関わる事を意識して欲しいので、こちらも掲げようと思います。</p> <p>【部活動について】 令和7年度は普通クラス、特別支援クラスとも1クラス減となる見込みです。そのため、配置教員数も3名程減ると予想されます。野球部は現在地域移行が始まり、上武大の学生から指導を受けています。生徒が安心・安全の元で活動できるよう、また生徒達が夢と希望を持ってやりたいことができるよう、部活動の数なども来年度は検討していきたいと思っています。</p>	

3、剛志学府の取組について

フードドライブ、制服リサイクル事業、公民館事業への参画として、縄飾り教室、こども絵画教室がありました。こども絵画教室では、生徒に指導補助として入ってもらいました。また、住民レクでも中学生が放送係として、参加してくれました。来年度も同じように取り組み、拡充していきたいと思っています。

4、その他

学校運営協議会の方々からの応援があって、境西中はより良くなっています。生徒達にも、さらに運営協議会の方々を身近に感じてもらうため、書き初め大会の審査をしていただきました。

3月7日(木)に、卒業を控えた3年生と地域の方で、御嶽山のクリーン作戦を行います。地域貢献につながる良い体験になると思います。

運営委員の皆様には、子ども達のためにご協力いただきありが

うございました。これからも、それぞれのお立場で、剛志小と境西中の子ども達を支え、お力添えをいただけたら幸いです。

一年間、ありがとうございました！



令和5年度 校内書き初め大会

【1年生】・【2年生】各賞2名

☆金賞 (学校運営協議会長賞)

☆銀賞

☆銅賞

*受賞者は配布物をご覧下さい